

2015年理学部(数理)第2問

1枚目/2枚

数理  
石井

2 関数  $f(x) = x^3 + a_1x^2 + a_2x + a_3$  について、次の間に答えよ。ただし、 $a_1, a_2, a_3$  は負の実数とする。

(1)  $f'(x) = 0$  は正の実数解と負の実数解を1つずつもつことを示せ。

$f'(x) = 0$  の正の実数解を  $\alpha$ 、負の実数解を  $\beta$  とおくと、 $-\alpha < \beta$  を示せ。

(2)  $f(x) = 0$  の正の実数解は、ただ1つであることを示せ。

(3)  $f(x) + f(-x) < 0$  を示せ。

(4)  $f(x) = 0$  の正の実数解を  $p$  とおく。  $x \leq -p$  のとき、 $f(x) < 0$  を示せ。

(1)  $f'(x) = 3x^2 + 2a_1x + a_2$

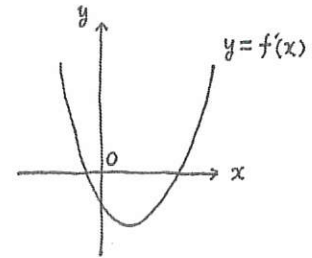
$f'(x) = 0$  の判別式を  $D$  とおくと

$$D = a_1^2 - 3a_2 > 0 \quad (\because a_2 < 0)$$

よって、 $f'(x) = 0$  は異なる2つの実数解をもつ

また、 $f'(0) = a_2 < 0$  ( $\because a_2 < 0$ ) であることから

$y = f'(x)$  のグラフは右のようになる。



$\therefore f'(x) = 0$  は正の実数解と負の実数解を1つずつもつ  $\square$

次に、軸の方程式は、 $a_1$  を用いて、 $x = -\frac{a_1}{2} > 0$  ( $\because a_1 < 0$ ) であり、

これは、 $\alpha, \beta$  を用いると、 $x = \frac{\alpha + \beta}{2}$  となるので、 $\alpha + \beta > 0$  すなわち、 $-\alpha < \beta$   $\square$

(2) (1) より、 $\pm$ 増減表は右のようになる

$$\begin{cases} \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty \text{ より グラフは右下のようになる。} \\ f(0) = a_3 < 0 \end{cases}$$

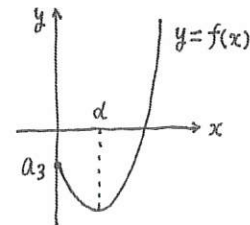
$x$	0	...	$\alpha$	...	
$f'(x)$			-	0	+
$f(x)$	$a_3$	$\searrow$		$\nearrow$	

$\therefore f(x) = 0$  の正の実数解は、ただ1つである  $\square$

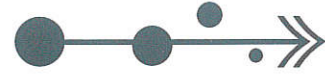
$$\begin{aligned} (3) f(x) + f(-x) &= x^3 + a_1x^2 + a_2x + a_3 + (-x)^3 + a_1(-x)^2 + a_2(-x) + a_3 \\ &= 2a_1x^2 + 2a_3 \end{aligned}$$

ここで、 $2a_1x^2 < 0$ 、 $2a_3 < 0$  ( $\because a_1, a_3 < 0$ ) であるから、

$$f(x) + f(-x) < 0 \quad \square$$



2枚目へつづく



2015年 理学部 (数理) 第2問

2枚目 / 2枚

数理  
石井K

2 関数  $f(x) = x^3 + a_1x^2 + a_2x + a_3$  について、次の問に答えよ。ただし、 $a_1, a_2, a_3$  は負の実数とする。

(1)  $f'(x) = 0$  は正の実数解と負の実数解を1つずつもつことを示せ。

$f'(x) = 0$  の正の実数解を  $\alpha$ 、負の実数解を  $\beta$  とおくと、 $-\alpha < \beta$  を示せ。

(2)  $f(x) = 0$  の正の実数解は、ただ1つであることを示せ。

(3)  $f(x) + f(-x) < 0$  を示せ。

(4)  $f(x) = 0$  の正の実数解を  $p$  とおく。  $x \leq -p$  のとき、 $f(x) < 0$  を示せ。

(4) (2) のグラフより、 $x \geq p$  において  $f(x) \geq 0$

ここで、 $t = -x$  とおくと、 $-t \geq p$  において、 $f(-t) \geq 0$

すなわち、 $t \leq -p$  において、 $f(-t) \geq 0$  … ①

また、(3) より、 $f(t) + f(-t) < 0 \iff f(t) < -f(-t)$  … ②

①、② より、 $x \leq -p$  のとき、 $f(x) < -f(-x) \leq 0$  すなわち  $f(x) < 0$  □